

② 情報発信部会

(ア) 部会の目的

知立駅周辺整備事業及び未来ビジョンについて、市民及び市内外の関係者に広く周知を行い、シティプロモーションを行うための戦略や取り組みを検討する。

(イ) 開催概要

【第1回】

日 時	令和7年11月5日(水) 13時～15時
場 所	知立市役所 第5会議室
参加者	知立まちづくり株式会社、株式会社藤田屋、株式会社FUJI、ゆめナビジャパン、中町町内会、株式会社キャッチネットワーク、中部電力株式会社、知立市経済課、大日本ダイヤコンサルタント株式会社 計12名
議 題	<ul style="list-style-type: none">・工事壁のデジタルサイネージ設置計画について・デジタルサイネージでの情報発信コンテンツについて
議事要旨	<ul style="list-style-type: none">・今年度から来年度末にかけて、駅前広場の工事壁に、実証実験としてデジタルサイネージの設置を行う予定であり、この部会でその掲載内容を具体化する。・他事例では、デジタルサイネージではたくさんのコンテンツを掲載しがちであるが、画面を分割すれば訴求力は弱くなる。まずは注意を得ることに力を割くべきであり、1年間はまちづくり系の取り組みのPRに集中するのが良いと考える。・将来的な自立運営を見据えて、企業広告などの可能性も徐々に実証すべきである。広告がついて運営費を賄うことができれば長期的に活用できる可能性がある。・イベントだけでなく、QRコードによる詳細な情報へのアクセス、学生との連携企画、市公式LINEの連携など、市民や駅利用者役に立つ、楽しめるコンテンツの開発や実証を行っていくことが重要である。・デジタルサイネージ以外にも駅利用者や市民にまちづくりの情報を届ける媒体はいくつかある。並行してこれらの検討を進めていくとともに、パネルや動画など、イベント時などに持ち出せる素材も作っておくべき。

【第2回】

日 時	令和8年1月9日（金）13時～14時30分
場 所	知立市中央公民館 中会議室
参加者	知立市商工会、知立市商工会青年部、株式会社藤田屋、株式会社 FUJI、中部電力株式会社、知立まちづくり株式会社、知立市経済課、大日本ダイヤコンサルタント株式会社 計 11 名
議 題	<ul style="list-style-type: none">・ 工事壁のデジタルサイネージ設置計画について・ デジタルサイネージでの情報発信コンテンツについて
議事要旨	<ul style="list-style-type: none">・ デジタルサイネージの設置位置について、通行人の往来が多い場所となるため、往来者に対する安全面での配慮が必要である。・ 流す内容は、まずはキャッチフレーズなどを中心に、認知してもらうことを目的として、事務局が提案されている情報を流していく形でよいのではないか。・ QR コードで案内する先のホームページ側の情報発信や分かりやすさがない。すぐには難しいかもしれないが、並行してそちらの情報も改善してほしい。・ 情報がネタ不足になることが懸念される。学生と連携する、発信内容の企画を募集するなど、参加型で運用出来ていけるとよい。・ 55周年事業では山本学園の学生さんに未来の知立の町に関する提案をいただいた。そのようなコンテンツを流すことができれば、家族で見に来るなど、人が関わるきっかけになりやすいと考えている。・ 配信内容は参加型で行い、市民と一緒に作り上げていくべき。